

令和元年度 第2回あわら市図書館協議会 会議録

- 1 日 時 令和2年2月18日(火) 午後2時～3時
- 2 場 所 金津本陣 IKOSSA 3階研修室2
- 3 会議日程
 - 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 令和元年度図書館事業報告(1月末現在)について
 - 4 その他
 - (1) 図書館システムの更新について
 - 5 閉 会
- 4 会議資料 会議次第
- 5 出席委員 富田優子・渡辺弘子・近藤順子・前田恵美
岩佐寛・小濱弘範・川崎扶美子
- 6 欠席委員 伊佐田啓子・笹原美輪子・蔵野幾夫
- 7 委員以外の出席者
岡田晃昌(文化学習課長)
(事務局)久嶋一廣(芦原図書館長)・佐藤雅美(金津図書館長)
佐々木幸枝(芦原図書館司書)河村みゆき(金津図書館司書)
見野部素子(金津図書館司書)
- 8 傍聴者 なし
- 9 開 会 (事務局：開会を告げる。)
- 10 委員長あいさつ(岩佐委員長)

今年は雪が降るのがめずらしいような暖かい冬になりました。世の中新型コロナウイルス(新型コロナウィルス)で騒がしくなっています。と言ってもなかなか気をつけるといっても限界がありますので難しいことですが・・・。

図書館協議会委員をしておりますと、新聞やテレビで読書とか図書館に関するいろいろな記事が出ておりますが、ついそちらに目がいきます。福井県の中でツタヤのブックストアができたりとか、福井市の図書館でビブリオバトルが行われたとかです。

図書館のカウンターにも案内パンフレットがありましたが、1月の何日からでしたか、前回の協議会の時にもお話しました「ニューヨーク公共図書館」のドキュメンタリー映画をメトロ劇場でやっておりまして、私は行けませんでした。1日だけ県立図書館の職員のトークがあったんだそうです。大変めずらしい行事だなと思います。それだけ、世の中の読書とか図書館に対するいろいろな関心が強いと思うし、また、一面、いろんな問題があるからなのかなと思ったりしています。今日は短い時間ですが、皆さんの貴重なご意見をいただければと思います。
- 11 庶務報告(事務局)

定足数(半数)について、委員10名中7名出席による会議の成立を報告する。
- 12 協議事項

規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。

協議事項の(1) 令和元年度図書館事業報告(1月末現在)について事務局から説明を行う。
- 13 質疑応答

議 長 事務局からの説明の内、まず蔵書統計や利用状況で何かありませんか。
前回話題になりました、また、提案がありました除籍冊数も出ておりますがいかがでしょうか。

委員F 利用状況についてですが、昨年度と比べますと、貸出冊数、貸出人数、来館者数

とも金津図書館も芦原図書館も減少しているのですが、何か原因があるのでしょうか。

事務局 委員がご覧になられているのは、前年度3月末日現在の統計との比較だと思います。前年の同時期（1月末日）との比較ですと、今年は増えております。金津図書館はかなり増えております。芦原図書館もシステム更新による休館（2019年9月22日～9月30日）があったことを考えますと、実質的には減ってはいないと思います。

議長 前回除籍についていろいろ意見があったのですが、その後、除籍について目立つ現象などありましたか？今までと基本的に変わらないですか？数もだいたいこんな感じでしょうか。

事務局 芦原図書館に関しましては、図書館の蔵書収納の許容量もありますので、閉架書庫にある古い小説、また今の時代にそぐわなくなってきた一般書をメインに除籍しております。

議長 他に何か質問等ありませんでしょうか？

ないようでしたら、次に3の「活動及び行事について」ご意見ありませんか？

委員F ブックスタートですけれども、やはり昨年より参加人数が減っていますよね。

事務局 これも1月末の数字ですので、2月、3月を足すとまあ前年並みに行くのではないかなと思います。昨年と同時期の比較ですと、参加数は昨年が118名、今年度が125名です。昨年も3月末以降に取りに来られて最終的に対象の9割の方にお渡しできました。

委員F あと、ブックスタートプラスというのがあるそうです。埼玉県でなどで2歳児対象で、もう1回ブックスタートを行っているそうです。習慣づけるには、2歳くらいでもう1回取り組むことは、とてもいいことだと思いますね。あわら市もどうでしょう。

事務局 予算の問題で難しいですね。

ブックスタートがはじまって袋（バック）をお渡しするのですが、その袋を持って借りにくる方が増えました。小学生になっても持ってきてくれる子が目立ちます。また最近、「イクメン」が目立ってきて、たくさんの若いお父さんが小さな子どもを連れて図書館へやってきます。親子でこのブックスタートの袋を持ってこられる方が本当に増えました。ブックスタートを行って来て本当によかったと思います。

委員F ブックスタートは全国的に行われているのでしょうか。

事務局 まだ取り組んでいない自治体もたくさんあります。

委員E 文学講演会がありましたよね。私は、参加することができなかったのですが、どのような内容でしたか？

事務局 講演会の内容でございますが、もともとは作家の桑島かおりさんがあわら市在住ということで、講演をお願いしたいと思っていたのですが、ちょうど桑島かおりさんが、あわら市が舞台になっている「ことぶき酒店御用聞き物語」の第4巻目を出されたところだったので、その本にまつわるお話や作家になった動機などをお話いただけたようお願いします。また、桑島かおりさんは榎本事務所にも所属していらっしゃるのですが、桑島かおりさんの先生でもあり、その事務所を主宰していらっしゃる榎本秋氏も桑島さんへの交渉の途中で東京から無料で来てくださるということになり、桑島さんが作家になった過程などを対談形式でしていただきました。何人かの委員の皆様にもご参加ご協力いただきまして有難うございました。

議長 確かに対談形式で、桑島さんのことだけでなく出版の世界のこともわかりましたね。

事務局 普通の講演よりもいろいろなお話が膨らんでよかったと思います。

委員E あわら市に住んでいらっしゃるのですか。

事務局 井江葎の方です。

議長 読み聞かせボランティア講座ですが、ステップアップ講座は初めてですか？

事務局 以前1回しましたが、今年は金津図書館にベテランの司書が2人揃ったので、2人で「1回づつ講座をしようか」ということになりました。

議長 この「活動及び行事」以外のことでもいいので、何かありませんか。

事務局 前回だけでなく今まで何回も図書館の司書の問題がでていましたが、その後どうでしょうか。

委員D 来年1名、司書を採用することになりまして、今いる方に失礼かもしれませんが平均年齢が下がりますね。まだどちらの図書館に配属になるか決まっていなくてもいいですか。

事務局 来年1名、司書を採用することになりまして、今いる方に失礼かもしれませんが平均年齢が下がりますね。まだどちらの図書館に配属になるか決まっていなくてもいいですが、それは、1名で決まっていますか？

委員D 1名で決まっております。

事務局 臨時の方でも司書の資格を持つ方はおられるのでしょうか？

委員D おります。

事務局 そういう方の雇用日数を増やすということはありますか？

委員D 1名採用というのは、失礼かもしれないのですが、定年近い方が2名おられるわけですので、その採用された1名の方がまた違う部署に配属されてしまったり、いろいろな可能性があると思うのです。1名というのは、将来的に不安ですね。

事務局 例えば「今年2人辞めるので、2人採用する」というのは、1人も辞めない年もあるし結局でこぼこになってしまいます。

委員D 毎年、みなさん年はとられていきますからね。今まで採用しないで、今さら「でこぼこをなるべくなくすために」と言われましても・・・。

事務局 退職されても「再任用」という形で残ってもらったり、採用も1名ないし2名をばちばち採用して、将来的にでこぼこにならないようにやっいていこうという方針なのです。「ある年にたくさん採用して」ということではなく、限られた予算の中でなるべく効率的に図書館を運営する工夫していかなくてはならないという考えです。

委員D 司書がおられなかったら、果たしてそこは図書館なのかということになってしまいうわけでして、貸本屋やレンタルショップではありませんし、本屋さんでもありませんので。

事務局 司書の重要性というものは十分わかっております。この前、市長が「図書館の職員と話し合う機会を持ちたい」ということで、話し合いがありました。その場で司書の必要性ということも、課長以下全員で市長に訴えまして、ある程度理解はしてもらったと思っております。

委員C そんなことがあったのですか。良かったですね。

委員C いろいろな課の全職員と話されたのですか？

事務局 いいえ、図書館だけです。岡田課長に設定してもらいました。人事の方から見ると、「単に頭数だけ揃えればいい」と考えてしまいがちですが、「そうではない」ということを強く申し上げてきました。

委員D 図書館というと、知らない方からみると「本さえあればいいんじゃないか」と思われがちですが、全国的にまちづくりの核にしようとか文化の拠点にしようとか、他との複合施設にしようとか全国的に強化していこうというところが多いと思うのです。

事務局 それを考えるとあわら市は逆行していると感じます。

議長 あわら市もそういう考え方ですよ。

委員D 2, 3年前ですけれども、新刊本の貸出について、例えば「売れゆきに影響するのではないか」というようなことが一時間問題になったことがありましたよね。最近あまり聞かないのですが、そのような動きはないですよ。特別な要求はないということですよ。

事務局 そうですよ。あまり言わなくなりましたね。

委員F 新聞等にも図書館の話題がよく出ていますよね。

事務局 朝日新聞に秋田市の国際教養大学中嶋記念図書館のことが出ておりました。大学生には、24時間365日開館しているそうです。他の県から見学にきて、ここに入りたいという学生が多いそうです。

議長 私もその記事を読ませていただきました。私の知り合いの息子さんがこの大学に入られていて、よくお話をお聞きするのですが、とても素晴らしいですよ。

議長 この前、家で資料を整理しておりましたら、2年前に政府が出した「子どもの読書活動推進計画」が出てきて、その資料の中で一番問題になっておりますのは、全く本を読まない高校生が50%以上いるということです。2000年からの統計で不読率は減ってはきています。問題は高校生なのですが、小中学生の読書の傾向はどうでしょうか。2000年というと、朝読書がはじまった頃なのだと思うのですが、読書の傾向について、今現在、学校で目立つ状況というのは何かありますか。

委員B 芦原中学校の司書とそれぞれ芦原地区、金津地区の各小学校へ巡回に行くのですが、小学校も朝読書していますし、中学校も金津高校も朝読書に取り組んでいます。あわら市は、小学校での朝読書がさかんなので、それがそのまま中学校でも生かされていて、芦原中学校も金津中学校も1人平均の貸出冊数は、今年度25冊となっています。年度が始まる前に、校長が今年の両校の目標を「ハードルが高いかもしれないけれども、20冊にしましょう」ということで、目標を20冊としたのですが、結果は25冊となりました。

議長 また、学校と市の図書館の交流をいろいろと考えていただくとありがたいと思います。他に何かありませんか。

委員D ブックスタートでもそうなのですが、前にも言わせていただいたように、図書館から離れた所に住んでいる小学生はやはり親が連れて来ないと来れない訳で、「だって、お父さんもお母さんも忙しくて連れてきてもらえないもの。図書館へなんて行ったことがない」という話を聞きます。

そういう「借りたいけれども借りられない」「学校の図書室の本を借りるので精一杯」という子供さんが多いと思うのです。

ブックスタートは、赤ちゃんが喜ぶいい機会をつくっていると思いますので、小学生にもそういういい機会があればと思います。

委員C 教えていただきたいのですが、ブックトークで学校へ行かれるときに、ブックリストを渡しているのでしょうか？

事務局 はい、ブックトークで紹介した本のブックリストを子供たちに渡しております。

委員C そのブックリストに「おうちの人と一緒に図書館へ行こう」と書いたらどうでしょうか。実はこの前、図書館が発行している図書館だよりに芦原図書館のクリスマスおはなし会の案内を載せてくださったためだと思うのですが、たくさんの参加者がありました。そういうことがあるので、ちょっと目につくということだけで、書いてあるのと書いてないのとでは、違うのかなと思います。子供たちが家へ帰って「今日、図書館の人がブックトークへ来たの」と報告しても、書いてあるのとないのとでは、違うと思うのです。

委員F 北潟とか周辺部の子は、もともと一人では行くことができないので、子どもクラブで初めて図書館へ来たときも「初めて来た」と喜んでいました。貸出カードも作っていない子もいたりして、やはり機会がないとなかなか図書館へは行かないのかなと思います。

事務局 金津図書館へは、小学校の社会科見学の授業の一環で、2年生の子が先生と一緒に見学にきて本も借りに来られます。

委員F 芦原小学校の子たちは、学校の帰りに芦原図書館へ来ていますよね。

事務局 金津図書館へは金津小学校の子が学校帰りにバス待ちの子がきます。芦原図書館へ来る芦原小学校の子は、親が迎えに来るのを待っている子がほとんどです。それも、一時は、芦原小学校の近くに不審者が出まして、集団下校という形になったために、子どもが来ないということが2ヶ月くらい続きましたね。

事務局 委員がおっしゃっていた「親に連れてきてもらえない子」というのは、小学生ですか？

委員D 小学生です。

事務局 私は、小学校2年生の子が図書館見学にきた時、「ここに来たことある子？」と質問してみるのですが、結構多くの子が手を挙げますね。だから、図書館へ多くの子が来ているのかなと思っていたのですが。

事務局
委員 E 学校も、職員がいて、本があるのでしたら学校図書館で済むのでしょうか。
小学校の話が出ていましたので、小学校の図書室はどんな具合ですか。昔は、図書委員とかもいて、朝とかも開いていたのですが、私は学校図書館でほとんど本を借りていました。

議長
委員 A 学校の図書室はどんな具合でしょうか。
学校の図書室ですけれども、図書委員がいるのは、朝と昼休みで、一応、1日中開いております。朝と昼以外に利用するときは、担任が一緒に行きます。子どもたちは、本は好きだと思います。だから、場所と時間と本が確保できれば、子どもたちは読書の時間を持つことができます。下校してからは、それぞれ忙しかったり、手元にいろいろなメディアがあり、そっちの方へ分かれていく子もいるのかなと思います。

委員 E
委員 A 大きな図書館へ行くと子どもたちは本当に喜ぶでしょうね。
そうですね。町探検で、金津図書館へ来た時も大喜びで本を借りて、また館長さんに案内していただいて、秘密の部屋にも入れていただき大喜びでした。

議長
委員 D P6の県内他図書館との比較についてはどうでしょうか。
他の市町は図書館が1つしかないところが多いですね。
事務局 市町村の合併がありましたので、合併していない市町は図書館が1つしかありません。坂井市も4館というのは、もともとそれぞれの町にあったので合併しまして4館となりました。1館のところは合併していない市町です。大野市は和泉村と合併しましたが、和泉村は図書館がなかったのが1つです。小浜市は1館ですが、福井県立図書館若狭図書学習センターがありますので、そちらを利用されている方も多いのだと思います。

議長
事務局 他にありませんか。
それでは、4のその他 図書館システムの更新について、事務局説明願います。
事務局 図書館システムの更新について、事務局より説明を行う。前回の図書館協議会で図書館システム更新による休館予定を9月20日～30日と報告したが、実際の休館を9月22日～30日となった旨などを報告する。

議長
事務局 読書シールですが、どうやってするのですか。
委員 H 図書館の利用者端末からご自分でプリントアウトしていただきます。
事務局 家のパソコンからできるのかと思っていました。
事務局 読書シールは、利用者端末に備えつけられていますが、手帳はご自分で用意していただきます。既に導入済の館の話では月に数人しか利用する人がいないそうです。

議長
事務局 図書館ホームページからの蔵書検索等のアクセス数はわかるのですか。
議長 アクセス数はわかりません。
議長 新しいシステムの蔵書検索ですが、書名を全部入力しないと出ないのでしょうか。
事務局 フリーワードで一部分が含まれていれば出ます。
議長 他に何か質問等ありませんか。
事務局 現在、あわら市図書館では貸出している本の延長を、原則1回で、それ以降は1度返却していただかないと延長更新できません。福井県内の図書館は全て同様ですが、ある利用者の方から「都会（大阪）では、2ヶ月間延長更新ができるのに、なぜそういう風に市民サービスをしないのか」と言われました。皆さん、どう思われますか。

議長
事務局 私は、2週間で十分です。それ以上読みたいと思ったら、本を購入します。
事務局 本の延長ですが、延長した日から2週間ですので読みたいと思われたら、2週間ぎりぎりまで待っていただいて延長したほうがよいと思います。また、予約を入れないまでも、待っていらっしゃる方もおられるので、他の方のことも考えないといけないように思いますね。

16 閉 会（議長に続き、事務局から閉会を告げる。）

.....